

聖の 2606 号

児童発達支援センター のぞみ園便り



児童発達支援センター のぞみ園
〒894-0007
鹿児島県奄美市名瀬和光町41-3
TEL:0997-53-1718 FAX:0997-53-6776
E-mail:nozomien@sis.seirei.or.jp



6月の行事

19日	金	避難訓練（火災）
25日	木	お弁当の日
26・27日	金・土	夏祭り



5月14日
避難訓練(火事)
の様子

7月の行事

1日～	水	プール開き
8日	水	避難訓練（台風）
18・19日	土・日	お泊り療育(リーダー)
22日	水	お弁当の日



昨年度の
夏祭りの様子



おしらせ

しとしと雨が降る日も増えてきましたが、お変わりございませんか。
新年度が始まって2ヶ月が過ぎました。2ヶ月前は緊張していた
子どもたちも、だんだんと園の生活に慣れてきたように感じま
す。どんよりとした天気が多いですが、園内は元気な声であふれ
ています。
本格的な夏が始まる前に、保護者の方々にいくつかお知らせとお
願いがございます。

※着替え・タオル・水等準備

これから暑くなることが予想されてきます。

着替え・タオル・水筒の準備のご確認をお願いいたします。

またお手数ではありますが、持物の紛失防止のため**名前の記入**ま
でよろしくお願いいたします。

※利用料請求について

今年度からのぞみ園利用料請求が**電子請求**となりました。

ご不明な点がございましたらいつでもお問い合わせください。

今年度は梅雨入りも早く、また例年よりも長く感じまし
た。また、豪雨も数日あり、緊張感漂う日もありまし
た。園内でも近くの川の様子を確認したり、送迎の際の
安全を再確認することができました。ご家庭でもぜひお
子さまと一緒に危険箇所や避難場所の確認等良い機会で
すので取り組んでみるのも良いですね。さて、新年度か
ら3カ月が過ぎ、この3カ月間利用者の皆さまが安心し
て通えるように、好きな遊びや得意なことを模索しまし
た。また、集団に入っていないお子様も自分のペースで
集団に少しずつ入れることが増えてきました。子どもた
ちのたくましい力を感じています。これからは本格的な
夏に入ります。水、砂、泥、泡、絵の具等々全身で感触
を楽しみ、肌からたくさんの栄養を吸収し、また、苦手
な子たちも見ることからのスタート、お友だちの遊ぶ様
子や大人との関わりからたっぷり栄養もらい、また手先
を上手に使えるために全身の遊びが良い準備期間とな
りますので、個々のペースを大切にしながら大人も一緒に
笑顔いっぱい過ごしてまいります。【所長：座安香織】

りんご組

毎日笑顔たっぷり元気いっぱいのりんごさん。6月に入
り朝の会では「かえるのうた」を手袋シアターに合わせ
て歌っています。職員の真似をして一生懸命指を動かし
歌おうとするかわいい姿がたくさん見られていますよ。
最近は大型トランポリンやでこぼこマット、すべり台を
上り下りしたりと室内での運動あそびもたっぷり楽しん
でいます。体を動かすことも大好きで、巧技台を自分の
力で一生懸命よじ登ったりなどもがんばっています。
梅雨明けもそろそろ、いよいよのぞみ園の夏が始まりま
す♪今年も大好きなお外でめいっばい水遊びや泥遊
び、時には絵の具遊びなど！子ども達一緒にたくさんの
“楽しいね”を感じながら過ごしていきたいと思います。



みかん組

梅雨に入り、窓に伝う雨を見て「お外に行きたいなあ」
と言うみかんさん。そんなみかんさんは色水遊びや泡遊
び、トランポリンやスイングなどを楽しんで元気いっば
いに過ごしています！
段々と園の生活にも慣れてきて、お友達の名前を呼んで
遊びに誘う姿がたくさん見られてきました。「この子は
だあれ？」「お名前なんて言うの？」「〇〇、おいで」な
ど、一人遊びが多かった4月から友達の輪が大きく広が
っているように感じます。
雨でもたくさん体を動かし、雨音にも負けない笑い声が
響き渡っています😊

れもん組

毎日元気いっぱいのれもん組さん。

6月はボールを花火に見立てて「せーの！」とタイミン
グを合わせて投げたり、バルーン遊びや箱車を使った乗
り物ごっこを楽しみました。遊びの中では、お友だちと
タイミングを合わせたり、役割を交代したりしながら、
一緒に遊ぶ楽しさを感じる姿が見られています。また、
自分の持ち物を自分で持とうとするなど、一人ひとりが
「やってみよう」とする姿も増えてきました。これから
も子どもたち一人ひとりの思いを大切にしながら、さま
ざまな経験を通して自信や意欲につなげていきたいと思
います。

梅雨に関する雑学

この時期よく聞く“**梅雨**”という言葉は中
国から伝わってきました。梅雨(つゆ)と
いう漢字に「梅」が使われるのは、この
時期に梅の実が熟して収穫の最盛期を迎
えるからです。
他にも、雨が続いてカビ(黴)が生えや
すい時期であることから「黴雨(ばい
う)」と呼ばれていたものが、音の同じ
「梅」に変化したとも言われています。
諸説あり。

<https://www.silver->

[gear.com/silvergear/summary_trivia.htm?L=BCSDetail&ID=AC0403576891](https://www.silvergear/summary_trivia.htm?L=BCSDetail&ID=AC0403576891)

